

令和6年度第2回岡崎市男女共同参画推進及び多様な性の尊重に関する審議会会議録

日 時 令和7年2月21日(金) 午前11時
場 所 岡崎市役所 東庁舎6階 601会議室
出席委員 打田委千弘会長・中村奈津子副会長・江坂進委員・伊藤理子委員・箕浦桂子委員・堀内健一委員・金谷美和委員・児玉洋行委員・高須久夫委員
欠席委員 西本梓委員
事務局 社会文化部：加藤部長・手嶋専門監
多様性社会推進課：本間課長・室田副課長・竹谷係長・兵藤係長・播本主事・内垣主事
家庭児童課：鈴木次長・柘植係長
傍聴者 なし

次 第

- 1 開会のことば
- 2 部長あいさつ
- 3 会長あいさつ
- 4 議題
 - (1) 計画見直しにあたっての意識・実態調査の結果報告について
 - (2) 新計画の要点について
 - (3) 令和6年度岡崎市男女共同参画推進事業所表彰の選定について
 - (4) 令和7年度事業計画（案）について
 - (5) その他
- 5 閉会のことば

議 事

- 議題(1) 計画見直しにあたっての意識・実態調査の結果報告について
- (2) 新計画の要点について
- 資料1：岡崎市男女共同参画基本計画見直しにあたっての意識・実態調査 結果報告書
- 資料2：第6次岡崎市男女共同参画基本計画(案)の要点
- 資料2-1：計画策定スケジュール
- 資料2-2：第7次岡崎市総合計画（抜粋）

高須委員 「⑤学区・町内会など地域の間」について、以前、町内会の総代をしていましたが、総代は女性の人数がとても少ないです。女性の人数を増やすということで、評議員8人中2人を女性にするという提案をしましたが、反対意見が多く、男性の評議員も自分から手をあげているわけではなく、選

挙や推薦でなっているのにと感じた経験があり、どうにか女性の人数を増やすことができないかと思います。

江坂委員 矢作南学区で長年総代をさせていただいておりますが、女性が総代としてでてくることはまずないです。男女どちらでもいいとはなっていますが、どうしても男性がでてきます。男女の差やしきたりがみられるので、どうしたら女性がでてくるようになるのかと思うところです。

会長 無意識のうちに男性を選んでしまう、女性がでにくいということもあると思います。世代が変われば、変わる場所もあると思いますが、現状において地域活動に女性がどのように参画していくかということも新計画に盛り込んでもいいと感じました。

中村委員 地域活動における男女共同参画という点について、地域によっては代表になることができるのは世帯主という慣習があり、仕組みとして女性が代表になることができないところがあると聞いたので、そのあたりについて、岡崎市ではどのようになっているのか確認してみてもいいと思います。

中村委員 「③子育てや保育園・学校とのかかわり」について、内閣府や愛知県の調査では「学校教育の場」となっていますが、「とのかかわり」とすることで「子育てに関わる保護者や家族、地域の方がどのように学校に関わっているか」という視点で回答する方が多く、「学校という場を市民の方がどう認識しているか」という視点が抜けているのではないかと感じました。その点を踏まえて、新計画を検討してもよいのではないかと感じました。

会長 学校教育における男女平等について聞く機会があってもいいかもしれません。学校現場ではいかがでしょうか。

児玉委員 以前生徒がバイアスについてプレゼンテーションした際に、気を付けないといけないこととして、バイアスなのか配慮なのか混ざらないようにしないと、配慮することが失礼になってしまうので注意する必要があると話しました。

また、男性・女性教員のイメージの差は、生徒・保護者・同僚の視点からみても存在すると思いますが、配慮や役割分担、性差という部分もあると思います。働き方については、女性の先生が多く、給料や休暇の取り方といった処遇についても男女の差はありませんし、子どもを日ごろからみていることもあり、家庭事情による休暇も理解が得られやすいと思います。育休や産休の制度も昔からあり、男性でも育児休業を取得できていたりするので、学校の職場の中では男女共同参画が進んでいるような気がします。

会長 私の勤めている大学では、経済学部女性の教員が2、3人しかいないなど、研究者になると差ができてしまうということもあります。

箕浦委員 普段、企業と関わる機会が多いのですが、以前と比べ、人手不足で女性も活躍していただかないと業務運営が回らない、女性が活躍できる場をつくることで働きやすい職場にするという視点が入ってきていると思います。

また、男性の管理職とは異なる、女性の特性を生かした管理職を設ける企業も増えてきたと感じています。ただ、管理職になると時間外労働の制限も取り払われ、男性と同じような働き方をするとすると、そこまでして管理職になりたくないという女性の方もおられます。働き方改革として時間に制限がある中でどう効率よく働くかという視点も取り入れていかないといけないと思いますし、平等といっても男女の差はあると思うので、お互いの特徴を理解し、活かすことのできる社会をつくっていく必要があると思います。

また、私たちの世代では、保育園の送り迎えや授業参観などは母親が行うことがほとんどでしたが、現在は父親も行うことがあり、育児に夫婦で関わっていこうとする視点が増えてきていると感じています。そのような育児に夫婦で関わっている世代と母親が中心に関わってきた世代との差は大きいと感じます。

箕浦委員 都会に多くの女性が移住し、地方に若い女性がいなくなってしまう理由の一つとして、地方にいと女性としての役割を押し付けられるからということを見てきました。男女平等とありますが、女性は結婚して子どもができてという大前提の中で考えられていると思います。多様性の視点として、結婚していない女性がどのように活躍できるのかということも考え、「岡崎市は女性としての役割を押し付けられない、多様な働き方ができ、様々な女性が働ける場所です」ということが示せれば、岡崎市で働こうと思う方が増えるのではないかと思います。

また、以前インスタグラムで愛知県における女性の働きやすいまちランキングというものを拝見したのですが、若い世代の方はSNSを見ると思うので、岡崎市もSNSに掲載されるようになるといいと思います。

児玉委員 子どもをみている立場から、両親が遅くまで働いている家庭では、子どもが家族と話す時間が少なく、寂しい思いをしているのではないかと感じる場合があります。男女に関わらず子どもが家族と過ごせる時間を確保できるような働き方ができるようになると、男女共同参画も進んでいくのではないかと思います。

会長 朝早くから夕方まで働かないといけない要因として、賃金格差の問題もあると思います。

金谷委員 事業所の人事部で働いておりますが、男女の賃金格差はあると感じています。パートタイムの職員に女性が多かったり、育児休業復帰後の時短制度も取得するのは女性のみだったり、男女平等には遠いと感じるところがあります。お子さんが帰る時間に家にいれば子どもはうれしいだろうなという思いもありつつ、仕事としての役割を求められることもあると思いますので、ジレンマを感じている従業員もいるのかなと思います。

会長 必ずしも家に家族の方がいなければならないのかといわれると一概にそ

うとは言えないと思います。子どもと接する機会を維持するということが重要だと思います。

中村委員 「アンコンシャス・バイアス」という言葉の定義について、心理学を始めとする複数の研究者から、学術的に使われている「アンコンシャス・バイアス」と、国のこれまでの用語の使い方には齟齬があるとの指摘があり、昨年末、内閣府で「アンコンシャス・バイアス」の用語の使い方について整理されました。このことを踏まえ、今後、用語の使い方が学術的に正しい使い方によっていく可能性があるということを念頭に置いて議論できると良いのではないかと思います。

中村委員 「3 ハラスメントについて」に関して、現在、労働施策総合推進法や男女雇用機会均等法によって、パワー・ハラスメント及びセクシュアル・ハラスメントに関しては、事業主が雇用管理上必要な措置や防止措置を講じることが義務付けられています。そのため、「問7 ハラスメントに関する防止策や対応策等の取組状況」で「取り組んでいないし、取り組む予定なし」と回答した企業が3割程度存在することは問題と捉える必要があると考えました。特に、若い世代がワーク・ライフ・バランスを大切にできる働き方を望む中で、ハラスメントへの対策が講じられていない（労働者を大切にすることを蔑ろにしているように見える）企業で働くことを希望するとは考えにくいです。大学の授業では、学生さんの関心も高いテーマの1つです。「ハラスメント対策を講じることが、人材確保の点からも、企業にとってのメリットになる」という認識が広がると良いと思います。

- 議題(3) 令和6年度岡崎市男女共同参画推進事業所表彰の選定について
資料3：令和6年度岡崎市男女共同参画推進事業所表彰評価表

会 長 事務局からご提案いただいたとおり、5事業所とも表彰基準を満たしていると評価し、男女共同参画推進事業所として認めてもよろしいでしょうか。

全 委 員 異議なし

会 長 働き方改革や女性活躍などの視点を踏まえ、中小企業からも申請していただけていることは非常に良いことだと思います。

- 議題(4) 令和7年度事業計画（案）について
(5) その他
資料4：令和7年度事業計画（案）について
資料5：ウィズ認証変更点
資料5-1：調査票

会 長 いろいろな意見があることでブラッシュアップされていくと思いますの

で、今後も様々な側面から議論できればと思います。